生産過程の基本

ここでは、有機農作物の生産過程を見ていきましょう。

１）土づくり

作物がすくすく育つ土は、人工的に簡易につくることはできません。腐植や有機栄養、ミネラルなどが元ととなり、さまざまな微生物や小動物などの生物が豊かに育くまれ、時間をかけて徐々にできあがります。有機栄養、腐植やミネラルも微生物も小動物も全てが絶妙なバランスの構成要素です。バランスがとれた土では、病害虫の被害も少なくなり、品質のよい農作物が安定して育ちます。

・肥料：遺伝子組換肥料やそれらを餌とした畜産堆肥、鶏糞、汚泥肥料、化学肥料などは直ぐにバランスを崩し、油虫をはじめ、さまざまな病害虫が発生してしまいす。ミネラルは光合成や生体（酵素）反応の触媒作用など、植物の生育に必要不可欠で、各成分は「拮抗作用」と「相乗効果」の関係が絡み合っています。

・有機栄養：植物は無機物から有機物をつくっていく能力がありますが、化学合成された無機栄養を用いる方法はおすすめしません。化学肥料は生物を減少、死滅させますが、有機栄養はあらゆる生物を育むからです。人も動物も植物も微生物や小動物も生き物で、自然生態系の一部であり、生態系全体がバランスよく育まれる農法を目指します。有機栄養・肥培管理